

1回戦

10年春季リーグ
第3週・4月19日
0勝1敗

13三振で零封負け

3季ぶりの青学大戦、

白星飾れず……

写真 橋本圭史
樹島知佳
文 樹島知佳



(下)初回、2死三塁の好機で凡退する山本

(左)相手ピッチャーにうまくかわされ三振を喫する笠間

駒大0-3青学大

青学大	001	100	010	3
駒大	000	000	000	0

専大戦で連勝し、勢いに乗った駒大。しかし、昨秋1部から降格した青学大を相手に、13三振を喫するなどして打線が沈黙。零封に抑えられ、投手陣を援護できず、優勝に向けて痛い黒星となった。

「相手のピッチャーが良かった。打てないね」。そう語った小椋正博監督。3季ぶりの対戦となった青学大との初戦は、相手投手が好調打線の前に立ちほだかった。初回、岡将吾(法3)の超越二塁打と犠打で、いきなり先制の好機をつくる。しかし、主軸が共に凡退。4番の山本祐大(法4)は「打ち取られるにせよ、良い当たりを打てていればプレッシャーをかけることができたのに」と、一飛に倒れたこ

とを悔んだ。無得点のまま迎えた8回、先頭の赤木義英(営4)が中前安打で出塁。ここでランエンドヒットを仕掛けるが、結果は笠間将裕(商4)の空振り三振と赤木の盗塁失敗で併殺。「4年生同士でそんなことをやっていたら勝てない」と、厳しい指揮官。打線は6安打を放ったものの連打はなく、つながらに欠けた。一方、先発・白崎勇氣(普3)は、決め球が定まらず、苦しい投球が続く。3回、2死一、三塁の危機に自らの暴投で先制点を許し、4回には、四球で出した走者を返され失点。前回の登板で大学初完投勝利を収めた右腕だったが、この日は6回を投げきれずに降板。

白崎勇 肩を落としてベンチに戻る



「先発の役目を果たせなかった」と、肩を落とした。終わってみれば13三振の打線であったが、主将の笠間は、「裏を返せばみんなが積極的に打っている証拠」と、前向き。自分たちの手で優勝をつかみ取るにはもう負けられない。気持ちを切り替え、次戦、リベンジに挑む。

【駒大】	打安点
⑥ 岡	4 1 0
④ 赤木	3 1 0
③ 笠間	3 0 0
⑨ 山本	4 2 0
⑦ 谷口	2 0 0
PH 柴田	1 0 0
7 嘉数駿	0 0 0
DH 山下	1 0 0
HD 北島	2 0 0
② 上村新	3 1 0
⑤ 白崎浩	2 1 0
⑧ 中谷	3 0 0
PH 戸柱	1 0 0
計	29 6 0

▽二塁打=岡、山本

	回	打安責
●白崎勇	52/3	26 7 2
小倉	31/3	12 1 1